

ワークショップ「健全で責任のある国際資源循環」

日時：2016年1月18日(月) 13:30～17:15

場所：東京大学本郷キャンパス 工学部14号館1階141講義室(定員:100名)

主催：未踏科学技術協会 エコマテリアル・フォーラム

協賛：エコデザイン学会連合、廃棄物資源循環学会、レアメタル資源再生技術研究会、日本LCA学会、日本MRS、日本金属学会(予定)、日本鉄鋼協会グリーンエネルギーフォーラム、国際レアメタル&リサイクル研究会、資源・素材学会

開催趣旨：資源循環を巡る国際的な動きが活発化している。2015年6月に開催されたエルマウ・サミットでは、資源効率向上のための活動を活発化することが謳われた G7 Alliance on Resource Efficiency が採択され、また、近年の EU における循環経済、資源効率に関する種々の政策や企業動向が注目を集めている。一方、中国は経済成長に陰りが出たと言われつつも資源の大量消費は留まるところを知らない。一方で、日本国内は家電や自動車に代表されるリサイクル型資源循環に社会システムが固定化し、沈滞したムードが漂っている。このような情勢の中で、アジア諸国は揺れ動きつつ、エスニックリサイクルを中心とした資源循環から、経済成長に伴う近代的な循環に進化する気配も見せつつある。また、欧州や中国から資源確保の場として触手を伸ばされている状況でもある。

本ワークショップは、このような情勢の中で、我が国発のコンセプト、技術でアジア諸国との win-win の視点で「健全で責任のある国際資源循環」を構築すべきではないのか、健全で責任のある国際資源循環としてどのような姿を目指すべきなのか、についてアイデアを出しながら自由な議論を行うことを目的に開催する。

奮ってのご参加をお待ちしております。

参加費：無料、資料代：2000円、交流会：5000円

プログラム：

1. 13:30～13:45 ごあいさつ

主催者挨拶

来賓挨拶

経済産業省 産業技術環境局リサイクル推進課 酒井 宗行様

環境省 廃棄物・リサイクル対策部企画課・循環型社会推進室 谷貝 雄三様

外務省 国際協力局地球環境課 西浦 博之様

2. 13:45～14:30 基調講演:国際資源循環の本質的課題

物質・材料研究機構 原田 幸明

3. 14:30～15:00 国際資源循環の最前線

アジア経済研究所 小島 道一

(15:00～15:15 休憩)

4. 15:15～17:15 ディスカッション「健全で責任ある国際資源循環」とは何か？

コーディネーター: 東京大学工学系研究科 醍醐 市朗

問題提起(1): マテリアル・フローから見た国際資源循環の課題とは？

京都大学エネルギー科学研究科 山末 英嗣

問題提起(2): 製品側から見た国際資源循環の課題とは？

東京大学工学系研究科 梅田 靖

コメンテーター: 慶應義塾大学 細田 衛士

物質・材料研究機構 原田 幸明

アジア経済研究所 小島 道一

国立環境研究所 寺園 淳

国立環境研究所 中島 謙一

早稲田大学 所 千晴

5. 17:30～ 交流会

場所: フォーレスト本郷 (〒113-0033 東京都文京区本郷 6-16-4)

< 参加登録先 >

<http://ecomat.besaba.com/registration/>

< ワークショップに関するお問い合わせ先 >

(担当) 田口

Tel: 029-859-2668

メール: ecomaterial@sntt.or.jp



Ecomaterials Forum

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-10 新橋アマノビル 6F

(一社)未踏科学技術協会 エコマテリアル・フォーラム